

14. 令和3年度事業計画

令和3年度 事業計画並びに事業予算

社会福祉法人慈敬会
ヒューマン・ケアこうしの杜
ヒューマン・ケアたかばの杜

令和3年度事業計画(案)

社会福祉法人 慈敬会

特別養護老人ホーム ヒューマン・ケアこうしの杜

令和3年度事業計画(案)

《 運営方針 》

- 1 ヒューマン・ケアこうしの社は、運営理念を基に老人福祉法及び介護保険法に基づく地域密着型介護老人福祉施設サービス、通所介護サービスの提供を通して、サービスを利用される高齢者の人権、個性、意思決定を尊重するとともに、お一人おひとりが生きがいのある生活を営まれることを目指し、ユニットケアにおける自己選択方式の自立支援を目指し質の高い専門的ケアに努める
また、ご利用者本人がその人らしい生活を継続して送れるように、ご家族と職員が協力し合い共に援助していく施設を目指す。また、積極的に地域に出向き、地域福祉活動に参加する(感染症の発生状況等により制限ある)。
- 2 介護サービス事業者としての適切な運営管理、ケアの質向上に資するよう情報提供の開示に努める
- 3 ご利用者のご家族及び職員にサービスに関する意見交換及び意見聴取を定期的に行い、業務改善と職員の意識改革を図るとともに、その結果を公表しご利用者へのサービス向上に努める
- 4 地域との連携については、新型コロナウイルス感染症蔓延防止により、今後も施設外部の方との交流の制限が考えられる。その為リモートやメール等、情報共有を行い連携の工夫を行なう
 - (1) 地域災害支援・協力
 - ①H28年の熊本地震の災害体験や近年の自然災害を基に、災害マニュアルの見直しを常に行い連携体制を整備する
 - ②地域の防災関連の状況等を区長や消防署等と情報交換し安全・安心できるまちづくりの一環を担う
 - (2) NPO法人ぽっかぽかすずかけ、及び地域住民との交流
 - ①NPO法人ぽっかぽかすずかけ、黒石原地区の行事や活動等の状況把握を行い、対面交流のほか、関わりの創意工夫を行なう
 - (3) 合志市高齢者支援課や地域包括支援センターと連携
 - ②地域会議に参画し、こうしの社が果たす役割を常に考え、合志市の課題を探求、研鑽する
- 5 職場風土の環境整備・働き方改革
 - (1) 質の高い介護サービスを提供するため、職員の専門的技術、資格、経験等に応じた活躍の場を提供し意欲向上を図る。管理職は、職員のストレスマネジメントを行うとともに、職員のキャリアアップについて、個人と共に考える機会を計画する
 - (2) 職員定着改善、充足についての検討を定期的に行う(管理者会議)
 - (3) 外国人労働者の雇用を検討。雇用課題として、外国人労働者への介護技術の習得、格取得のための支援、職場環境への配慮、生活環境に関する支援等、随時就労について、会話の機会を定期につくる
 - (4) 有給休暇の所得：各部署で職員と協力し計画的に休暇を行う(長期休暇を含む)
 - (5) ユニット単位の人員の増員体制：就労柔軟なパート雇用、高齢者雇用体制の緩和(就業規則改定)
 - (6) 個人の能力に応じた柔軟な就労方法を提案し介護従事者の就労革新を考える

《 入所事業計画 》

1 生活支援の総括

- (1) 入居されている方の身体状態の重度化やお見取りの方へのケアについて研鑽していく
具体的にはフォローアップ研修や日々のカンファレンスを重視し、入居者の方の視点で
議論し実行する
- (2) 入居者の方の全身状態把握とアセスメントの徹底を図り、心身の異常の早期発見及び
QOL（生活の質）の向上に努める
- (3) 入居者の方の病状変化やケアについては、個別のケアプラン発表・カンファレンスを行
い職種間の連携を密にし、チームワークを強化する。またケアプラン発表には、入居者
ご本人とご家族に出席を求め、意見交換を行い信頼関係の構築に努める
- (4) 上記に基づき、心身の健康管理や生活上の予防を行い、入院日数を最小限とし利用率の
効率化をはかり健全な施設運営を行う

2 食事・栄養管理

(1) 栄養管理

- ① 栄養ケアマネジメントに基づいた個別の栄養管理を行い、入居者お一人おひとりの
栄養状態の維持・改善に努める。また栄養状態のリスクの高い入居者には、各部署連携の
下、食事の調整を行なう。食事の際に変化を把握し問題がある場合には、早期に対応する
- ② 慢性疾患のある入居者には、医師の指示に基づき療養食（糖尿病食・腎臓病食・肝臓病
食・胃潰瘍食・貧血食・すい臓病食・脂質異常症食・痛風食）を提供し、疾患の悪化防
止に努める
- ③ 口から食べることの重要性を認識し、医師の指示に基づいて経口移行や経口維持の取り
組みを行う
- ④ 最後まで食べることの愉しみを感ぜられるように口腔内の衛生管理や食事形態の工夫に
努めたい

(2) 食事サービス

- ① 「日本人の食事摂取基準 2020 年版」に基づいた食事管理（特定集団に対する食事計画と
それに基づく適切な品質管理による継続的な食事提供及び摂取状況等の把握）を行うこ
とで、入居者の方への健康の維持・増進と生活習慣病の予防に努める
- ② 咀嚼・嚥下障害の方にも美味しく安全に食べて頂けるような料理の工夫を行う

3 行事・余暇活動

感染症対策を行ないつつ、創意工夫を凝らし入居者の方の楽しみや生きがいを大切にす

- (1) 入居者の方の意向、心身の状態に応じた行事レクリエーションの充実を図る
- (2) 季節や地域性を感じられる活動を試みる
- (3) 趣味の会、クラブ活動の充実
- (4) 地域行事への見学、地域と繋がるための新たな参加方法の模索

4 災害対策と BCP（事業継続計画）について

- (1) 火災については、通年どおり年間防災計画に基づき避難訓練、消火器・消火栓操作法訓
練及び設備定期点検実施等を実施し、訓練精度を高めるとともに防災意識向上に努める

(火災時の自主訓練や備えの点検を年間2回行う)

- (2) 多様な災害(台風、竜巻、地震等)についてのマニュアルの見直しや職員研修、災害前後のシミュレーションを行なう
- (3) 災害にあっても食の満足度を考え、備蓄品リストを作成し定期的に見直し点検する
- (4) 災害時の職員行動基本順番計画、確認
- (5) 被災した場合を想定し施設請求データや他PCデータのバックアップと保存の管理
- (6) 災害時の業者、各機関への連絡方法と指示系統の確認、持ち出し物確認、表示

5 感染症対策とBCP(事業継続計画)について

熊本県内の感染状況を把握し、その状況に合わせて感染拡大防止についての対策を執る

- (1) 職員は、日々の予防を生活習慣とする
- (2) 入居者へのケアについては「栄養・活動・休息・清潔・疾病の予防」を基本とし、日頃から生活予防に配慮する
- (3) 熊本県内や九州地区の感染拡大状況に応じて職員に具体的行動注意を伝達していく
- (4) 施設内の予防消毒、早期対応(職員への休暇、入居者への保護)
- (5) 定期的に感染症発生時のシミュレーションや内部研修会の実施、月1回の委員会の開催マニュアルの周知を行なう
- (6) 感染疑いや感染症発生時の対応: 指示系統確認、勤務体制の整備、各機関との連絡、ご家族への連絡

6 職員研修・育成

内部、外部会議や研修会はリモートを積極的に取り入れる

- (1) 外部研修参加により、常に新たな情報を取得し、ケアの質の向上や創意工夫を図る。
- (2) 専門職としての資格取得、キャリアアップを支援する。
- (3) 内部研修(月一回); 研修の内容は施設管理を行う上で、タイムリーな課題を取り入れケア改善を図る。
- (4) 施設内で日頃のケアを振り返り、研究発表を行い互に高め合う機会をつくる

7 職員のメンタルサポート

- (1) 管理職は、就業に関する相談を受けやすい職場風土に心がける
管理職は、職員の健康管理(身体的・精神的・社会的)に留意する
- (2) 管理職は、運営管理や職員就労サポートに関する外部研修等に積極的に参加し、自施設に合った運営について常に模索する(管理者会議にて)
- (3) 職員の精神負担からおこる不適切なケアが発生しないように就労上の負担軽減を考える(備品整備、業務見直し、休暇)
- (4) 新型コロナウイルス感染予防対策に関連して職員がストレスや抑うつ状態に陥っていないか管理職は、職員との日頃のコミュニケーションや職員の体調管理に留意する

備考1) 令和3年度 社会福祉法人慈敬会 事業計画表(案) 別表参照

《通所介護事業計画》

1 ケアの総括・方針

- (1) 認知症の方に配慮した自立支援を目指し、筋力維持向上プログラムと認知機能改善のための脳トレーニングを個別または、小集団ケアにより実施する
- (2) 機能改善プログラムやトレーニングの方法は、ご利用者の尊厳や自尊心に配慮しおひとりお一人が生きがいやゆしみ、達成感を感じていただけるように支援する
- (3) 認知症の方が在宅で生活を続けられるように「できる事」を生活に活かし、「できない事」には生活上の工夫やケアのアドバイスを提供できるように支援する

2 ご利用者への支援

- (1) 御利用者の状態観察とアセスメント、居宅介護支援事業所や家族との情報交換及び在宅での生活背景の把握等に努め、ご利用者とご家族の意向に基づいた支援による信頼性の高いサービス提供に努める
- (2) お一人おひとりのケースカンファレンスによる継続性のあるケアを提供する
ご利用者の身体機能改善や認知症進行予防を目的とした自己選択方式の自立支援プログラムを実施し、在宅生活の継続を支援する
- (3) 屋外活動、生活リハビリの充実
個人の趣味や特技を活かした生活リハビリを実施する
地域行事や催事への参加・見学、ショッピング等の地域参加の機会を充実する
- (4) 理学療法士による専門的見解から、お一人おひとりの機能訓練の強化を行いQOLの向上を図る。
- (5) 職員のケア向上や自己啓発については、入所事業と合同で研修会を行う
- (6) 要支援者への介護予防として、脳活性化や補いたい筋力の強化に向けて、個人のリハビリメニューの達成目標を自ら設定できるよう促す

3 ご家族への支援

- (1) ご家族やケアマネージャーと情報を共有し、ご利用者やご家族のニーズ、またはご家族負担等に係るアセスメントを行い、在宅介護が継続できるように共に考える時間をもつ
- (2) 在宅生活上の介護方法を尊重しながら、通所でのご利用者の良い兆候等は、ご家族と共有しご家族とご利用者の生活のしづらさを改善する

4 栄養管理

- (1) ご利用者の心身状態、嗜好、食習慣及び生活歴に応じた栄養マネジメントを行う
- (2) 五感で食べる楽しみを満たす献立、調理、季節感を味わえる行事食の提供、食事やおやつ作りを通じ役割作りや手続き記憶によるゆしみ達成感を提供する
- (3) 地産地消に取組み、安全、安心な食事提供を行う

5 災害対策とBCP（事業継続計画）について

- (1) 火災については、通年どおり年間防災計画に基づき避難訓練、消火器・消火栓操作法訓練及び設備定期点検実施等を実施し、訓練精度を高めるとともに防災意識向上に努める（火災時の自主訓練や備えの点検を年間2回行う）

- (2) 多様な災害（台風、竜巻、地震等）についてのマニュアルの見直しや職員研修、災害前後のシミュレーションを行なう
- (3) 災害にあっても食の満足度を考え、備蓄品リストを作成し定期的に見直し点検する
- (4) 災害時の職員行動基本順番計画、確認
- (5) 被災した場合を想定し施設請求サーバーや他 PC サーバーのバックアップと保存の管理
- (6) 災害時の業者、各機関への連絡方法と指示系統の確認、持ち出し物確認、表示

6 感染症対策と BCP（事業継続計画）について

熊本県内の感染状況を把握し、その状況に合わせて感染拡大防止についての対策を執る

- (1) 職員は、日々の予防を生活習慣とする
- (2) 入居者へのケアについては「栄養・活動・清潔・疾病の予防」を基本とし、日頃から生活予防に配慮する
- (3) 熊本県内や九州地区の感染拡大状況に応じて職員に具体的行動注意を伝達していく
- (4) 施設内の予防消毒、早期対応（職員への休暇、入居者への保護）
- (6) 定期的に感染症発生時のシミュレーションや内部研修会の実施、月 1 回の委員会の開催マニュアルの周知を行なう
- (7) 常日頃から、近隣事業所や居宅支援事業所との連絡を密にし、タイムリーな感染管理に関する情報交換を行なっておく
- (8) 感染疑いや感染症発生時の対応：指示系統確認、勤務体制の整備、各機関との連絡、ご家族への連絡

備考 1) 令和 3 年度 社会福祉法人慈敬会 事業計画表（案） 別表参照

令和3年度 社会福祉法人慈敬会 事業計画 <こころの杜 入所事業>

月	施設 運営・設備管理	入居者余暇活動	施設内研修会	職員業務・活動 (委員会)	地域活動・交流
4	施設機材点検 介護機材の点検 R1年度事業報告まとめ 新型コロナウイルス種 草刈り、外庭清掃	桜、つつじ花見外出・ドライブ 夜会 つつじ・菖蒲花見 外出・ドライブ	職員のメンタルサポート 理事長 感染症 (食中毒・ノロウイルス・新型コロナウイルス) 高齢者の身体的変化と疾患の理解 鮎田先生講義・グループワーク	加湿器掃除収納(環境美化) 新型コロナウイルス 害虫駆除 緊急連絡訓練・模擬 入居者寝具調整(環境美化) 入職者研修(2日間) 書類整理(ケア向上)	施設内地域活動検討会議 (コロナ感染症状況をみて検討) 施設内地域活動検討会議
5	総合防災訓練(自主) (調理、ムカデ、ハエ) エアコン清掃	水無月御茶会 紫陽花花見ドライブ	防災管理 (火災・台風・水害・土砂災害) 高齢者ケアに関する倫理と権利擁護 (身体拘束をしないケアとは)	職員健康診断(夜勤者) 広報誌発行 施設内外のリスク点検(リスク) 初盆のご挨拶(担当) 身体拘束廃止適性委員会(2) 総合防災訓練(仮間)	施設内地域活動検討会議
6	評議員理事会 運営推進会議 建物点検 (8年目)	七夕 お盆・夕涼みの花火 衣替え 杜カフェ	①リスクマネジメント:自己分析 ②看取りケアについて 感染症 (新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス)	入居者・ご家族・職員アンケート ケアプラン研修 広報誌発行 書類整理	施設内地域活動検討会議
7	災害・防災月間 キャラバン車検 運営推進会議 キューブ車検 理事会	ミニ納涼会(中旬) 敬老会 コスモス花見ドライブ お月見イベント(夜会) 杜カフェ	認知症ケア より良いケア 排泄ケア・口腔ケア(未定) 高齢者ケアに関する倫理と権利擁護 (不適切なケアとは)	緊急連絡訓練・模擬 身体拘束廃止適性委員会(3)	黒石原秋祭り 施設内地域活動検討会議
8	ガラス窓清掃(2F) 草刈り、外庭清掃 災害用備蓄品整理 消防設備点検	餅つき会 クリスマス・忘年会 門松づくり	節分イベント 榎木市(1月下旬～2月中旬) ひなまつりイベント 杜カフェ	広報誌発行 インフルエンザ・ノロウイルス予防啓発 入居者寝具調整・加湿器準備 書類整理 大掃除(環境美化)	施設内地域活動検討会議
9	草刈り、外庭清掃 ガラス窓清掃 インフルエンザ予防接種	入居者衣替え 寝具交換 エアコン清掃	①シニアティンク・ポジショニング ②次年度委員会編成 本年度事業報告・次年度計画 未定	本年度委員会 次年度委員会 職員健康診断(全員)	施設内地域活動検討会議
10	草刈り、外庭清掃 ガラス窓清掃 インフルエンザ予防接種	節分イベント 榎木市(1月下旬～2月中旬) ひなまつりイベント 杜カフェ	節分イベント 榎木市(1月下旬～2月中旬) ひなまつりイベント 杜カフェ	本年度委員会 次年度委員会 職員健康診断(全員)	施設内地域活動検討会議
11	草刈り、外庭清掃 ガラス窓清掃 インフルエンザ予防接種	節分イベント 榎木市(1月下旬～2月中旬) ひなまつりイベント 杜カフェ	節分イベント 榎木市(1月下旬～2月中旬) ひなまつりイベント 杜カフェ	本年度委員会 次年度委員会 職員健康診断(全員)	施設内地域活動検討会議
12	草刈り、外庭清掃 ガラス窓清掃 インフルエンザ予防接種	節分イベント 榎木市(1月下旬～2月中旬) ひなまつりイベント 杜カフェ	節分イベント 榎木市(1月下旬～2月中旬) ひなまつりイベント 杜カフェ	本年度委員会 次年度委員会 職員健康診断(全員)	施設内地域活動検討会議
1	草刈り、外庭清掃 ガラス窓清掃 インフルエンザ予防接種	節分イベント 榎木市(1月下旬～2月中旬) ひなまつりイベント 杜カフェ	節分イベント 榎木市(1月下旬～2月中旬) ひなまつりイベント 杜カフェ	本年度委員会 次年度委員会 職員健康診断(全員)	施設内地域活動検討会議
2	草刈り、外庭清掃 ガラス窓清掃 インフルエンザ予防接種	節分イベント 榎木市(1月下旬～2月中旬) ひなまつりイベント 杜カフェ	節分イベント 榎木市(1月下旬～2月中旬) ひなまつりイベント 杜カフェ	本年度委員会 次年度委員会 職員健康診断(全員)	施設内地域活動検討会議
3	草刈り、外庭清掃 ガラス窓清掃 インフルエンザ予防接種	節分イベント 榎木市(1月下旬～2月中旬) ひなまつりイベント 杜カフェ	節分イベント 榎木市(1月下旬～2月中旬) ひなまつりイベント 杜カフェ	本年度委員会 次年度委員会 職員健康診断(全員)	施設内地域活動検討会議
備考	各種変更届・定款・規定 乾燥機ガス点検 月1回 ・エレベーター点検 月1回 ・グリストラップ清掃	個人誕生会:各日 おやつ作り:月1回	・外部リモート研修参加 ・新人研修(終日・2日) ・ケアプラン研修(終日・2日)	・月1回各委員会 ・介護用品等の福除は定期で施行	・ぽっかぽかすずかけ連携 ・地区の行事確認

令和3年度事業計画書(案)

年 月	屋外活動(外出)	行事・趣味活動(生活リハビリ)	活動費予算(単位:円)	
			製作等	おやつ・行事等
R 3. 4	・桜花見(恵楓園、ホンダ技研)ドライブ	・壁画製作(ディスプレイ)・施設慰問参加 ・おやつ作り(パンケーキ) ・映写会 ・誕生会	1,000	2,000
R 3. 5	・つつじ見学(杉水大津つつじ園)	・壁画製作(ディスプレイ)・施設慰問参加 ・おやつ作り(パフェ) ・誕生会	1,000	2,000
R 3. 6	・紫陽花見学(大津・高山) ・ココファーム買い物	・壁画製作(ディスプレイ)・施設慰問参加 ・おやつ作り(水ようかん) ・絵てがみ・習字 ・梅干し作り 誕生会	1,000	2,000
R 3. 7	・ダイソー買物	・壁画製作(ディスプレイ) ・はあもにい保育園慰問(七夕) ・梅干し作り・梅のシロップ作り ・おやつ作り(ホットケーキ) 誕生会	1,000	2,000
R 3. 8	・ぶどう狩り(村上巨峰園)	・壁画製作(ディスプレイ) ・デイサービス夏まつり ・おやつ作り(カキ氷・明石焼き・綿菓子) ・誕生会	1,000	4,000～ 5,000
R 3. 9	・屋外散歩(孔子公園or元気の森公園)	・壁画製作(ディスプレイ) ・敬老会 ・はあもにい保育園鼓笛隊慰問 ・おやつ作り(おはぎ) 誕生会	1,000	2,000
R 3. 10	・コスモス見学(旭志・ほたるの里)	・壁画製作(ディスプレイ) ・こしの杜運動会 ・体力測定 ・おやつ作り(いきなりだんご風) 誕生会	1,000	2,000
R 3. 11	・菊人形展見学(菊池)	・壁画製作(ディスプレイ) ・はあもにい保育園慰問(勤労感謝の日) ・デイサービス文化祭・利用者作品展 ・おやつ作り(ホットケーキ) 誕生会	1,000	2,000
R 3. 12	・買物ツアー	・壁画製作(ディスプレイ) ・デイサービスクリスマス会・忘年会 ・おやつ作り(クリスマスケーキ) 誕生会 ・施設クリスマス会 施設餅つき会	1,000	4,000～ 5,000
R 4. 1	・初詣(三ノ宮神社) ・どんどや(はあもにい保育園)	・壁画製作(ディスプレイ) ・おやつ作り(どら焼き) ・誕生会	1,000	2,000
R 4. 2	・植木市見学(農業公園) ・ひな人形展見学	・壁画製作(ディスプレイ) ・おやつ作り(チョコクッキー) ・誕生会	1,000	2,000
R 4. 3	・桜花見(フジフィルム・恵楓園)	・はあもにい保育園慰問(ひなまつり会) ・壁画製作(ディスプレイ) ・おやつ作り(桜もち) ・誕生会	1,000	2,000
※ 毎月、季節に合わせたディスプレイ作りの製作活動を行い、手指巧緻作業や脳活性の賦活に繋げている。月に1度は、おやつ作りや外出行事も実施し、生活リハビリに繋げたり気分転換を図っている。			合計金額	
			12,000	28,000

令和3年度 居宅介護支援事業所 事業計画

(運営方針)

地域包括ケアの実現のために地域と連携し、下記の項目を中心に可能な限り在宅で自立した生活が送れるように支援する。

- ・認知症（若年性を含む）方の在宅支援
- ・要介護者ならび要支援者の重度化予防
- ・医療との連携
- ・在宅におけるターミナルケア
- ・利用者ならび家族支援

(事業計画)

1：基本事業

- ・利用者ならび家族からの相談を受け、要介護認定申請の代行ならびその後の支援を行い、サービス利用につなげる。
- ・認定後の福祉制度の活用や居宅サービス計画書の作成、サービス導入や連絡調整、モニタリング、給付管理業務など行う。
- ・地域包括支援センターからの委託を受け、要支援者の介護予防プランを作成、サービス導入や連絡調整、モニタリング、給付管理など行う。
- ・特養を含めたグループ施設と連携し、在宅での生活が困難な方への施設入所を含めた支援を行う。

2：地域とのつながりを深め、地域福祉に貢献する。

- ・近隣小学校の福祉教育活動への参加協力（依頼時）
- ・合志市域包括支援センターを含む他市町村の包括支援センターと連携を図り、必要時は「地域ケア会議」に参加し、地域課題の提案や解決を含めた提言を行う。
→前年度は菊陽町の地域ケア会議にも参加する
- ・地域高齢者サロンへの活動協力
- ・地域からの相談を随時受け、関係各所に繋げる。

3：外部研修

- ・主任介護支援専門員の更新要件に該当する研修への参加（年4回）
- ・その他の研修
→・認知症ケア専門士（年3回他）

3：外部研修

- ・熊本県介護支援専門士協会が実施する研修
- ・こうしケアマネクラブならび近隣市町村が実施する研修会
- ・熊本県が実施する福祉系の研修会

4：職員体制

職名	員数	職務内容
管理者 介護支援専門員	常勤 1名	事業所内の従業員の管理および業務の実行状況の把握その管理を行う。

*利用者の増加に伴い、状況に応じて増員を検討していきたい。

5：収支計画

・令和4年1月から介護保険法改正となり、それぞれ利用料が変更となる。
1名体制のため40件（要支援の方は0.5人換算）までの制限あるが、逡減制の見直しにて45件までの受け入れは可能である。

現状は利用者の入退院があるため、月平均として要介護者（35～38件程度）、要支援者（5～6人）での受け入れ推移と予定する。

・今年度は特定事業所加算（A）100単位/月の算定要件を確認しながら、要件に該当できるように体制を整備し、加算取得を行っていく。

*要介護

取扱要件	利用料（1ヶ月あたり）	（現行）	（改定後）
居宅介護支援費（I） （件数40件未満）	要介護1・2	10.570円	10.760円
	要介護3.4.5	13.730円	13.980円

*要支援

取扱要件	利用料（1ヶ月あたり）	
居宅介護支援費	要支援	4.310円 3.810円（熊本市）

・月平均で40～43万円で前年度の実績として収支あり。令和3年度も前年度の収支を計画する。（約480～520万円/年）

文責
居宅管理者
井上 かおる

令和3年度事業計画(案)

社会福祉法人 慈敬会

特別養護老人ホーム ヒューマン・ケアたかばの杜

令和3年度事業計画(案)

〈 運営方針 〉

- 1 ヒューマン・ケアたかばの杜は、運営理念を基に老人福祉法及び介護保険法に基づく地域密着型介護老人福祉施設サービス、通所介護サービスの提供を通して、サービスを利用される高齢者の人権、個性、意思決定を尊重するとともに、お一人おひとりが生きがいのある生活を営まれることを目指し、ユニットケアにおける自己選択方式の自立支援を目指し質の高い専門的ケアに努める
また、ご利用者本人がその人らしい生活を継続して送れるように、ご家族と職員が協力し合い共に援助していく施設を目指す。また、積極的に地域に出向き、地域福祉活動に参加する(感染症の発生状況等により制限ある)
- 2 介護サービス事業者としての適切な運営管理、ケアの質向上に資するよう情報提供の開示に努める
- 3 ご利用者のご家族及び職員にサービスに関する意見交換及び意見聴取を定期的に行い、業務改善と職員の意識改革を図るとともに、その結果を公表しご利用者へのサービス向上に努める
- 4 地域との連携については、新型コロナウイルス感染症蔓延防止により、今後も施設外部の方との交流の制限が考えられる。その為リモートやメール等、情報共有を行い連携の工夫を行なう
 - (1) 地域災害支援・協力
 - ①H28年の熊本地震の災害体験や近年の自然災害を基に、災害マニュアルの見直しを常に行い連携体制を整備する
 - ②地域の防災関連の状況等を区長や消防署等と情報交換し安全・安心できるまちづくりの一環を担う
 - (2) 地域住民との交流
 - ①竹迫や幾久富地区の行事や活動等の状況把握を行い、対面交流のほか、繋がりや関わりの創意工夫を行なう
 - (3) 合志市高齢者支援課や地域包括支援センターと連携
 - ①地域会議に参画し、たかばの杜が果たす役割を常に考え、合志市の課題を探求、研鑽する。
- 5 職場風土の環境整備・働き方改革
 - (1) 質の高い介護サービスを提供するため、職員の専門的技術、資格、経験等に応じた活躍の場を提供し意欲向上を図る。管理職は、職員のストレスマネジメントを行うとともに、職員のキャリアアップについて、個人と共に考える機会を計画する
 - (2) 職員定着改善、充足についての検討を定期的に行う(管理者会議)
 - (3) 外国人労働者の雇用を検討。雇用課題として、外国人労働者への介護技術(3)の習得、資格取得のための支援、職場環境への配慮、生活環境に関する支援等、随時就労について、会話の機会を定期につくる
 - (4) 有給休暇の所得：各部所で職員と協力し計画的に休暇を行う(長期休暇を含む)
 - (5) ユニット単位の人員の増員体制：就労柔軟なパート雇用、高齢者雇用体制の緩和(就業規則改定)
 - (6) 個人の能力に応じた柔軟な就労方法を提案し介護従事者の就労革新を考える

《 入所事業計画 》

1 生活支援の総括

- (1) 入居されている方の身体状態の重度化やお見取りの方へのケアについて研鑽していく具体的にはフォローアップ研修や日々のカンファレンスを重視し、入居者の方の視点で議論し実行する
- (2) 入居者の方の全身状態把握とアセスメントの徹底を図り、心身の異常の早期発見及びQOL（生活の質）の向上に努める
- (3) 入居者の方の病状変化やケアについては、個別のケアプラン発表・カンファレンスを行い職種間の連携を密にし、チームワークを強化する。またケアプラン発表には、入居者ご本人とご家族に出席を求め、意見交換を行い信頼関係の構築に努める
- (4) 上記に基づき、心身の健康管理や生活上の予防を行い、入院日数を最小限とし利用率の効率化をはかり健全な施設運営を行う

2 食事・栄養管理

(1) 栄養管理

- ① 栄養ケアマネジメントに基づいた個別の栄養管理を行い、入居者お一人おひとりの栄養状態の維持・改善に努める。また栄養状態のリスクの高い入居者には、各部署連携の下、食事の調整を行なう。食事の際に変化を把握し問題がある場合には、早期に対応する
- ② 慢性疾患のある入居者には、医師の指示に基づき療養食（糖尿病食・腎臓病食・肝臓病食・胃潰瘍食・貧血食・すい臓病食・脂質異常症食・痛風食）を提供し、疾患の悪化防止に努める
- ③ 口から食べることの重要性を認識し、医師の指示に基づいて経口移行や経口維持の取り組みを行う
- ④ 最後まで食べることの愉しみを感じられるように口腔内の衛生管理や食事形態の工夫に努めたい

(2) 食事サービス

- ① 「日本人の食事摂取基準 2020 年版」に基づいた食事管理（特定集団に対する食事計画とそれに基づく適切な品質管理による継続的な食事提供及び摂取状況等の把握）を行うことで、入居者の方への健康の維持・増進と生活習慣病の予防に努める
- ② 咀嚼・嚥下障害の方にも美味しく安全に食べて頂けるような料理の工夫を行う

3 行事・余暇活動

感染症対策を行ないつつ、創意工夫を凝らし入居者の方の楽しみや生きがいを大切にする

- (1) 入居者の方の意向、心身の状態に応じた行事レクリエーションの充実を図る
- (2) 季節や地域性を感じられる活動を試みる
- (3) 趣味の会、クラブ活動の充実
- (4) 地域行事への見学、地域と繋がるための新たな参加方法の模索

4 災害対策と BCP（事業継続計画）について

- (1) 火災については、通年どおり年間防災計画に基づき避難訓練、消火器・消火栓操作法訓練及び設備定期点検実施等を実施し、訓練精度を高めるとともに防災意識向上に努める

(火災時の自主訓練や備えの点検を年間2回行う)

- (2) 多様な災害（台風、竜巻、地震等）についてのマニュアルの見直しや職員研修、災害前後のシミュレーションを行なう
- (3) 災害にあっても食の満足度を考え、備蓄品リストを作成し定期的に見直し点検する
- (4) 災害時の職員行動基本順番計画、確認
- (5) 被災した場合を想定し施設請求データや他 PC データのバックアップと保存の管理
- (6) 災害時の業者、各機関への連絡方法と指示系統の確認、持ち出し物確認、表示

5 感染症対策と BCP（事業継続計画）について

熊本県内の感染状況を把握し、その状況に合わせて感染拡大防止についての対策を執る

- (1) 職員は、日々の予防を生活習慣とする
- (2) 入居者へのケアについては「栄養・活動・休息・清潔・疾病の予防」を基本とし、日頃から生活予防に配慮する
- (3) 熊本県内や九州地区の感染拡大状況に応じて職員に具体的行動注意を伝達していく
- (4) 施設内の予防消毒、早期対応（職員への休暇、入居者への保護）
- (5) 定期的に感染症発生時のシミュレーションや内部研修会の実施、月1回の委員会の開催マニュアルの周知を行なう
- (6) 感染疑いや感染症発生時の対応：指示系統確認、勤務体制の整備、各機関との連絡、ご家族への連絡

6. 職員研修・育成

内部、外部会議や研修会はリモートを積極的に取り入れる

- (1) 外部研修参加により、常に新たな情報を取得し、ケアの質の向上や創意工夫を図る。
- (2) 専門職としての資格取得、キャリアアップを支援する
- (3) 内部研修（月一回）；研修の内容は施設管理を行う上で、タイムリーな課題を取り入れケア改善を図る
- (4) 施設内で日頃のケアを振り返り、研究発表を行い互に高め合う機会をつくる

7 職員のメンタルサポート

- (1) 管理職は、就業に関する相談を受けやすい職場風土に心がける
管理職は、職員の健康管理（身体的・精神的・社会的）に留意する
- (2) 管理職は、運営管理や職員就労サポートに関する外部研修等に積極的に参加し、自施設に合った運営について常に模索する（管理者会議にて）
- (3) 職員の精神負担からおこる不適切なケアが発生しないように就労上の負担軽減を考える（備品整備、業務見直し、休暇）
- (4) 新型コロナウイルス感染予防対策に関連して職員がストレスや抑うつ状態に陥っていないか管理職は、職員との日頃のコミュニケーションや職員の体調管理に留意する

備考1) 令和3年度 社会福祉法人慈敬会 事業計画表（案） 別表参照

令和3年度 社会福祉法人慈敬会 事業計画

＜たかばの村 入所専業＞

月	施設 運営・設備管理	入居者余暇活動	施設内研修会	職員業務・活動 (委員会)	地域活動・交流
4	運営推進会議 設備 施設機材点検 介護機材の点検 外倉庫設置 新型コロナウイルス接種 草刈り、外庭清掃	桜、つじ花見外出・ドライブ つつじ・菖蒲花見 外出・ドライブ	施設のメンタルサポート 理事長 感染症 (食中毒・ノロウイルス・新型コロナウイルス) 高齢者の身体的変化と疾患の理解 鮎田先生講義・グループワーク 防災管理 (火災・台風・水害・土砂災害)	加湿器掃除収納(環境美化) 害虫駆除 入職者研修(2日目) 緊急連絡網確認 身体拘束廃止適性委員会(1) 入居者寝具調整(環境美化)	施設内地域活動動検討会議 (コロナ感染症状況により検討) 施設内地域活動動検討会議
5	R1年度事業報告 草刈り、外庭清掃	水無月御茶会 紫陽花花見ドライブ		書類整理(ケア向上) 広報誌発行 ケアプラン研修	地区美化作業 施設内地域活動動検討会議
6	運営推進会議 害虫駆除 (調理、ムカデ、ハエ) エアコン清掃	七夕 お盆・夕涼みの花火 衣替え 杜カフェ		施設内外のリスク点検(リスク) 初盆のご挨拶(担当)	観音祭り 施設内地域活動動検討会議
7	運営推進会議 ガラス窓清掃 床ワックス 草刈り、外庭清掃	ミニ納涼会(中旬) 敬老会		総合防災訓練(夜間) 職員健康診断(夜勤者) 身体拘束廃止適性委員会(2)	
8	運営推進会議 災害・防災月間 消防設備点検		①リスクマネジメント:自己分析 ②看取りケアについて	書類整理 入居者・ご家族・職員アンケート	
9	運営推進会議 入居者衣替え 寝具交換 エアコン清掃	コスモス花見ドライブ お月見イベント 杜カフェ	感染症 (新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス)		施設内地域活動動検討会議
10	建物点検(5年目) 草刈り、外庭清掃 ガラス窓清掃	紅葉ドライブ 外食テイクアウト スポーツ大会	タクティケア 講師:富田さん(野口様ご家族)	インフルエンザ・ノロウイルス予防啓発 入居者寝具調整・加湿器準備 身体拘束廃止適性委員会(3)	
11	ハイエース車検 運営推進会議 総合防災訓練(消防署)	餅つき会 クリスマス・忘年会(食事会) 門松づくり 初詣(たかば日吉神社)	より良いケア 排泄ケア・口腔ケア(未定)	書類整理 大掃除(環境美化)	施設内地域活動動検討会議
12	運営推進会議 床ワックス エアコン清掃	節分イベント 植木市(1月下旬～2月中旬)	高齢者ケアに関する倫理と権利擁護 (不適切なケアとは)		
1	運営推進会議 備品在庫整理 消防設備点検	ひなまつりイベント 杜カフェ	①シーティング・ポジショニング ②次年度委員会編成 本年度事業報告・次年度計画 未定	広報誌発行 身体拘束廃止適性委員会(4) 本年度委員会の振り廻り 次年度委員会計画立案 職員健康診断(全員)	施設内地域活動動検討会議 たかば初市
2	アトレ車検・R4年 乾燥機ガス点検 月1回 エレベーター点検 月1回 グリストララップ清掃定期	個人の誕生会:各日 おやつ作り:月1回 個別の外出:各自		・月1回各委員会 ・介護用品等の届除は定期で施行	・ぽっかぽかずきかけ運携 ・ご近所喫茶 ・地区の行事確認
備考					

令和 3 年度

社会福祉法人慈敬会事業予算（案）

資金収支当初予算

令和 3年 4月 1日

(単位:円)

勘定科目		前年度予算額	当初予算額	増減
事業活動収入	介護保険事業収入	304,077,000	312,316,000	8,239,000
	居宅介護料収入(介護報酬収入)	13,175,000	13,833,000	658,000
	介護報酬収入	13,175,000	13,833,000	658,000
	居宅介護料収入(利用者負担金収入)	1,441,000	1,513,000	72,000
	介護負担金収入(一般)	1,441,000	1,513,000	72,000
	地域密着型介護料収入(介護報酬収入)	192,073,000	197,234,000	5,161,000
	介護報酬収入	192,073,000	197,234,000	5,161,000
	地域密着型介護料収入(利用者負担金収)	21,563,000	22,136,000	573,000
	介護負担金収入(一般)	21,563,000	22,136,000	573,000
	居宅介護支援介護料収入	4,690,000	4,690,000	
	居宅介護支援介護料収入	4,690,000	4,690,000	
	利用者等利用料収入	70,585,000	72,360,000	1,775,000
	居宅介護サービス利用料収入	50,000	50,000	
	地域密着型介護サービス利用料収入	3,924,000	3,924,000	
	食費収入(公費)	12,226,000	12,555,000	329,000
	食費収入(一般)	15,555,000	15,976,000	421,000
	居住費収入(公費)	12,464,000	12,799,000	335,000
	居住費収入(一般)	26,366,000	27,056,000	690,000
	その他の事業収入	650,000	650,000	
	受託事業収入	650,000	650,000	
	(保険等査定減)	100,000	100,000	
	受取利息配当金収入	2,000	2,000	
	受取利息配当金収入	2,000	2,000	
	その他の収入	3,860,000	3,860,000	
	利用者等外給食費収入	760,000	760,000	
	雑収入	3,100,000	3,100,000	
事業活動収入計(1)	307,939,000	316,178,000	8,239,000	
事業活動支出	人件費支出	210,513,000	210,513,000	
	職員給料支出	156,000,000	156,000,000	
	職員賞与支出	26,000,000	26,000,000	
	退職給付支出	350,000	350,000	
	法定福利費支出	28,163,000	28,163,000	
	事業費支出	43,403,000	43,253,000	-150,000
	給食費支出	16,780,000	16,780,000	
	介護用品費支出	7,490,000	7,390,000	-100,000
	医薬品費支出	35,000	35,000	
	保健衛生費支出	1,950,000	1,900,000	-50,000
	医療費支出	30,000	30,000	
	教養娯楽費支出	454,000	454,000	
	日用品費支出	890,000	890,000	
	水道光熱費支出	10,480,000	10,480,000	
	消耗器具備品費支出	3,000,000	3,000,000	
	保険料支出	50,000	50,000	
	賃借料支出	240,000	240,000	
	葬祭費支出	250,000	250,000	
	車輛費支出	1,254,000	1,254,000	
	雑支出	500,000	500,000	
	事務費支出	22,817,000	23,157,000	340,000
	福利厚生費支出	1,900,000	1,900,000	
	職員被服費支出	320,000	320,000	
	旅費交通費支出	110,000	300,000	190,000
	研修研究費支出	250,000	400,000	150,000
	事務消耗品費支出	1,650,000	1,650,000	

資金収支当初予算

令和 3年 4月 1日

(単位:円)

		勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減	
支	出	印刷製本費支出	200,000	200,000		
		修繕費支出	1,204,000	1,204,000		
		通信運搬費支出	850,000	850,000		
		会議費支出	81,000	81,000		
		広報費支出	500,000	500,000		
		業務委託費支出	9,300,000	9,300,000		
		手数料支出	1,010,000	1,010,000		
		保険料支出	1,212,000	1,212,000		
		賃借料支出	306,000	306,000		
		土地・建物賃借料支出	888,000	888,000		
		租税公課支出	30,000	30,000		
		保守料支出	1,490,000	1,490,000		
		渉外費支出	250,000	250,000		
		諸会費支出	650,000	650,000		
		雑支出	616,000	616,000		
		支払利息支出	3,803,000	3,561,000	-242,000	
		支払利息支出	3,803,000	3,561,000	-242,000	
				事業活動支出計(2)	280,536,000	280,484,000
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	27,403,000	35,694,000	8,291,000	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	7,098,000	2,580,000	-4,518,000	
		施設整備等補助金収入	7,098,000	2,580,000	-4,518,000	
		施設整備等収入計(4)	7,098,000	2,580,000	-4,518,000	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	23,172,000	23,172,000		
		設備資金借入金元金償還支出	23,172,000	23,172,000		
		固定資産取得支出	1,500,000	1,500,000		
		器具及び備品取得支出	1,500,000	1,500,000		
		施設整備等支出計(5)	24,672,000	24,672,000		
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-17,574,000	-22,092,000	-4,518,000	
その他の活動による収支	収入	長期貸付金回収収入	250,000	600,000	350,000	
		長期貸付金回収収入	250,000	600,000	350,000	
		積立資産取崩収入	250,000	250,000		
		退職給付引当資産取崩収入	250,000	250,000		
		サービス区分間長期借入金収入	1,785,000	1,785,000		
		サービス区分間長期借入金収入	1,785,000	1,785,000		
		サービス区分間繰入金収入	200,000	200,000		
		サービス区分間繰入金収入	200,000	200,000		
				その他の活動収入計(7)	2,485,000	2,835,000
	支出	長期貸付金支出	795,000	795,000		
		長期貸付金支出	795,000	795,000		
		積立資産支出	2,250,000	2,250,000		
		退職給付引当資産支出	1,250,000	1,250,000		
		その他の積立資産支出	1,000,000	1,000,000		
		サービス区分間長期貸付金支出	1,785,000	1,785,000		
		サービス区分間長期貸付金支出	1,785,000	1,785,000		
		サービス区分間繰入金支出	200,000	200,000		
		サービス区分間繰入金支出	200,000	200,000		
		その他の活動支出計(8)	5,030,000	5,030,000		
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-2,545,000	-2,195,000	350,000	
		予備費支出(10)		500,000	500,000	
		当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	7,284,000	10,907,000	3,623,000	
		前期未支払資金残高(12)	94,007,583	94,007,583		

資金収支当初予算

令和3年4月1日

(単位:円)

勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減
当期末支払資金残高(1)+(12)	101,291,583	104,914,583	3,623,000

資金収支当初予算

令和3年4月1日

(単位:円)

勘定科目		前年度予算額	当初予算額	増減
事業活動収入	介護保険事業収入	172,205,000	180,444,000	8,239,000
	居宅介護料収入(介護報酬収入)	13,175,000	13,833,000	658,000
	介護報酬収入	13,175,000	13,833,000	658,000
	居宅介護料収入(利用者負担金収入)	1,441,000	1,513,000	72,000
	介護負担金収入(一般)	1,441,000	1,513,000	72,000
	地域密着型介護料収入(介護報酬収入)	103,218,000	108,379,000	5,161,000
	介護報酬収入	103,218,000	108,379,000	5,161,000
	地域密着型介護料収入(利用者負担金収)	11,468,000	12,041,000	573,000
	介護負担金収入(一般)	11,468,000	12,041,000	573,000
	居宅介護支援介護料収入	4,690,000	4,690,000	
	居宅介護支援介護料収入	4,690,000	4,690,000	
	利用者等利用料収入	37,613,000	39,388,000	1,775,000
	居宅介護サービス利用料収入	50,000	50,000	
	地域密着型介護サービス利用料収入	2,022,000	2,022,000	
	食費収入(公費)	6,593,000	6,922,000	329,000
	食費収入(一般)	8,436,000	8,857,000	421,000
	居住費収入(公費)	6,704,000	7,039,000	335,000
	居住費収入(一般)	13,808,000	14,498,000	690,000
	その他の事業収入	650,000	650,000	
	受託事業収入	650,000	650,000	
	(保険等査定減)	50,000	50,000	
	受取利息配当金収入	1,000	1,000	
	受取利息配当金収入	1,000	1,000	
	その他の収入	400,000	400,000	
	利用者等外給食費収入	300,000	300,000	
	雑収入	100,000	100,000	
	事業活動収入計(1)	172,606,000	180,845,000	8,239,000
事業活動支出	人件費支出	126,220,000	126,220,000	
	職員給料支出	92,500,000	92,500,000	
	職員賞与支出	15,000,000	15,000,000	
	法定福利費支出	18,720,000	18,720,000	
	事業費支出	24,620,000	24,470,000	-150,000
	給食費支出	9,300,000	9,300,000	
	介護用品費支出	4,300,000	4,200,000	-100,000
	医薬品費支出	20,000	20,000	
	保健衛生費支出	950,000	900,000	-50,000
	医療費支出	10,000	10,000	
	教養娯楽費支出	250,000	250,000	
	日用品費支出	550,000	550,000	
	水道光熱費支出	5,200,000	5,200,000	
	消耗器具備品費支出	2,300,000	2,300,000	
	賃借料支出	190,000	190,000	
	葬祭費支出	200,000	200,000	
	車輛費支出	1,050,000	1,050,000	
	雑支出	300,000	300,000	
	事務費支出	14,936,000	14,936,000	
	福利厚生費支出	1,300,000	1,300,000	
職員被服費支出	220,000	220,000		
旅費交通費支出	100,000	100,000		
研修研究費支出	200,000	200,000		
事務消耗品費支出	800,000	800,000		

資金収支当初予算

令和3年4月1日

(単位:円)

		勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減
支	出	印刷製本費支出	100,000	100,000	
		修繕費支出	1,000,000	1,000,000	
		通信運搬費支出	500,000	500,000	
		会議費支出	30,000	30,000	
		広報費支出	500,000	500,000	
		業務委託費支出	6,000,000	6,000,000	
		手数料支出	910,000	910,000	
		保険料支出	612,000	612,000	
		土地・建物賃借料支出	528,000	528,000	
		租税公課支出	20,000	20,000	
		保守料支出	800,000	800,000	
		渉外費支出	150,000	150,000	
		諸会費支出	650,000	650,000	
		雑支出	516,000	516,000	
		支払利息支出	1,872,000	1,721,000	-151,000
		支払利息支出	1,872,000	1,721,000	-151,000
		事業活動支出計(2)	167,648,000	167,347,000	-301,000
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	4,958,000	13,498,000	8,540,000
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	4,518,000		-4,518,000
		施設整備等補助金収入	4,518,000		-4,518,000
		施設整備等収入計(4)	4,518,000		-4,518,000
	支出	設備資金借入金元金償還支出	10,500,000	10,500,000	
		設備資金借入金元金償還支出	10,500,000	10,500,000	
		固定資産取得支出	1,000,000	1,000,000	
		器具及び備品取得支出	1,000,000	1,000,000	
		施設整備等支出計(5)	11,500,000	11,500,000	
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-6,982,000	-11,500,000	-4,518,000
その他の活動による収支	収入	長期貸付金回収収入	250,000	600,000	350,000
		長期貸付金回収収入	250,000	600,000	350,000
		積立資産取崩収入	250,000	250,000	
		退職給付引当資産取崩収入	250,000	250,000	
		サービス区分間長期借入金収入	1,785,000	1,785,000	
		サービス区分間長期借入金収入	1,785,000	1,785,000	
		サービス区分間繰入金収入	200,000	200,000	
		サービス区分間繰入金収入	200,000	200,000	
		その他の活動収入計(7)	2,485,000	2,835,000	350,000
	支出	長期貸付金支出	795,000	795,000	
		長期貸付金支出	795,000	795,000	
		積立資産支出	1,500,000	1,500,000	
		退職給付引当資産支出	1,000,000	1,000,000	
		その他の積立資産支出	500,000	500,000	
		サービス区分間長期貸付金支出	1,785,000	1,785,000	
		サービス区分間長期貸付金支出	1,785,000	1,785,000	
		サービス区分間繰入金支出	200,000	200,000	
		サービス区分間繰入金支出	200,000	200,000	
その他の活動支出計(8)	4,280,000	4,280,000			
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-1,795,000	-1,445,000	350,000
		予備費支出(10)		500,000	500,000
		当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-3,819,000	53,000	3,872,000

資金収支当初予算

令和3年4月1日

(単位:円)

勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減
前期末支払資金残高(12)	84,233,526	84,233,526	
当期末支払資金残高(11)+(12)	80,414,526	84,286,526	3,872,000

資金収支当初予算

令和3年4月1日

(単位:円)

勘定科目		前年度予算額	当初予算額	増減	
事業活動による収入	介護保険事業収入	131,872,000	131,872,000		
	地域密着型介護料収入(介護報酬収入)	88,855,000	88,855,000		
	介護報酬収入	88,855,000	88,855,000		
	地域密着型介護料収入(利用者負担金収)	10,095,000	10,095,000		
	介護負担金収入(一般)	10,095,000	10,095,000		
	利用者等利用料収入	32,972,000	32,972,000		
	地域密着型介護サービス利用料収入	1,902,000	1,902,000		
	食費収入(公費)	5,633,000	5,633,000		
	食費収入(一般)	7,119,000	7,119,000		
	居住費収入(公費)	5,760,000	5,760,000		
	居住費収入(一般)	12,558,000	12,558,000		
	(保険等査定減)	50,000	50,000		
	受取利息配当金収入	1,000	1,000		
	受取利息配当金収入	1,000	1,000		
	その他の収入	3,460,000	3,460,000		
	利用者等外給食費収入	460,000	460,000		
	雑収入	3,000,000	3,000,000		
	事業活動収入計(1)	135,333,000	135,333,000		
	事業活動による支出	人件費支出	84,293,000	84,293,000	
		職員給料支出	63,500,000	63,500,000	
職員賞与支出		11,000,000	11,000,000		
退職給付支出		350,000	350,000		
法定福利費支出		9,443,000	9,443,000		
事業費支出		18,783,000	18,783,000		
給食費支出		7,480,000	7,480,000		
介護用品費支出		3,190,000	3,190,000		
医薬品費支出		15,000	15,000		
保健衛生費支出		1,000,000	1,000,000		
医療費支出		20,000	20,000		
教養娯楽費支出		204,000	204,000		
日用品費支出		340,000	340,000		
水道光熱費支出		5,280,000	5,280,000		
消耗器具備品費支出		700,000	700,000		
保険料支出		50,000	50,000		
賃借料支出		50,000	50,000		
葬祭費支出		50,000	50,000		
車輛費支出		204,000	204,000		
雑支出		200,000	200,000		
事務費支出	7,881,000	8,221,000	340,000		
福利厚生費支出	600,000	600,000			
職員被服費支出	100,000	100,000			
旅費交通費支出	10,000	200,000	190,000		
研修研究費支出	50,000	200,000	150,000		
事務消耗品費支出	850,000	850,000			
印刷製本費支出	100,000	100,000			
修繕費支出	204,000	204,000			
通信運搬費支出	350,000	350,000			
会議費支出	51,000	51,000			
業務委託費支出	3,300,000	3,300,000			
手数料支出	100,000	100,000			
保険料支出	600,000	600,000			

資金収支当初予算

令和 3年 4月 1日

(単位:円)

勘定科目		前年度予算額	当初予算額	増減
	賃借料支出	306,000	306,000	
	土地・建物賃借料支出	360,000	360,000	
	租税公課支出	10,000	10,000	
	保守料支出	690,000	690,000	
	渉外費支出	100,000	100,000	
	雑支出	100,000	100,000	
	支払利息支出	1,931,000	1,840,000	-91,000
	支払利息支出	1,931,000	1,840,000	-91,000
	事業活動支出計(2)	112,888,000	113,137,000	249,000
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	22,445,000	22,196,000	-249,000
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	2,580,000	2,580,000	
	施設整備等補助金収入	2,580,000	2,580,000	
	施設整備等収入計(4)	2,580,000	2,580,000	
	支出			
	設備資金借入金元金償還支出	12,672,000	12,672,000	
	設備資金借入金元金償還支出	12,672,000	12,672,000	
固定資産取得支出	500,000	500,000		
器具及び備品取得支出	500,000	500,000		
施設整備等支出計(5)	13,172,000	13,172,000		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-10,592,000	-10,592,000		
その他の活動による収支	収入			
	その他の活動収入計(7)			
	支出			
	積立資産支出	750,000	750,000	
	退職給付引当資産支出	250,000	250,000	
	その他の積立資産支出	500,000	500,000	
その他の活動支出計(8)	750,000	750,000		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-750,000	-750,000		
予備費支出(10)				
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	11,103,000	10,854,000	-249,000	
前期末支払資金残高(12)		9,774,057	9,774,057	
当期末支払資金残高(11)+(12)		20,877,057	20,628,057	-249,000